

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスげんき榎原				公表日	令和8年3月20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	基準値よりスペースの確保をしています		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	保育士や介護福祉士等専門性の備えたスタッフを配置しています		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	室内はバリアフリーになっています 視覚的な構造化の配慮と環境を整えている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日の掃除、消毒を行っています 動線を考慮した安全な環境を整えています		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	状況に応じて個別のお部屋を用意しています	新しく入ったスタッフにも周知していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	毎日のミーティングにて共通理解をしています 議事録にて共有、PDCAサイクルを心掛けています		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者向け評価結果を活用し保護者様の意向の把握に努めています	改善した点を連絡アプリなどのツールを使い発信していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎日のミーティングにて話し合いをしています	改善前と改善後の確認と報告の徹底をしていく	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	評価結果を業務改善に繋げていきます	必要に応じて検討していく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	スキルアップの研修会を行っています 県や外部の研修に参加し資格取得		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	連絡アプリの掲示板にて公表 事業所入口に掲示しています	掲示方法を再確認し、必要に応じて個別にも伝えていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	利用時や面談、モニタリングにて分析 支援計画書を作成しています		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	支援員と情報を共有し 共通理解をしています		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	個々のファイルにて保管、共有をしています		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	毎日のミーティングにて様子を共有し スタッフ間で確認できています		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	ミーティングにてスタッフ間で話し合い 必要な項目を考え支援内容を設定しています		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	活動のあり方に共通の目標を持ち 取り組んでいます		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	毎日のミーティングにて工夫している 特性に対応し達成感を得られる内容など		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	必要に応じて臨機応変に対応しています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎日のミーティングを行っています 議事録にて記録を残している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終了後は全員が疲れない時もあるので グループラインにて気付いた点は必ず共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	記録に残して振り返り、検証、改善に 繋げています	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	モニタリングや面談を行い保護者様の意見 や要望を取り入れ必要に応じて見直ししている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	話し合い、充実した支援を提供しています スケジュールで組み合わせています	ガイドラインを再度周知、確認していく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	コミュニケーションを取りながら特性に 応じた伝え方を理解し支援しています	
関係機関 や保護者との 連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達支援管理責任者、日々の関わりを 持つスタッフが必ず出席しています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要に応じて情報交換をしています	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	学校送迎時に必ず情報共有をしている 年間行事や下校時間の確認をしています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	必要に応じて情報共有をしています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	必要に応じて情報提供をしています	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	助言や指導を受ける機会を設けてません	今後必要に応じて検討していきます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	交流の機会を設けてません	保護者様の意見を聞きながら 検討していきます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	参加しています	協議会の内容を共有していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時に必ず様子をお伝えして連絡アプリ にて支援内容も記入しています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	定期的に保護者様、ご家族様、参加型のイベント を開催いたしています	特性や発達の状態を共通理解し 情報を提供できる研修の機会を検討していきます
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時、利用時に保護者様に分かりやすく 丁寧な説明を行っています 内容について不明な点がないか確認している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	保護者様に加えて、児童の様子や意向も 確認しています	モニタリング時にしっかり聞き取り 対応していく
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	保護者様に丁寧な説明を行っています	全ての保護者様に理解を得ているか しっかり確認していきます
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	ご相談があれば面談を行い共有してスタッフ 間で話し合いをしています	今後も迅速で丁寧な対応を心掛けていきます

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	年2回イベントを通じて交流できる機会を設けてます イベント内容にも一緒に参加できるよう工夫しています	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	運営規程、契約書に苦情受付窓口の記載 解決に向けて迅速な対応と体制を整えています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	連絡アプリを活用し毎月のイベント内容や毎月活動の報告をしています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	保護者様と個人情報同意書を交わし十分に留意しています	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	視覚的に分かりやすく個々に沿った伝え方をしています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	年1回に開催しているイベントに地域の方々にも参加して頂いている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	連絡アプリの掲示板にて全てのマニュアルを重要なお知らせとしていつでも閲覧できるよう掲示しています	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	年2回の体験型訓練を実施、記録に残しBCP策定しています	再度全てのスタッフに周知します
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	利用時や定期的な病院受診に対して状況を確認しています	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	利用時の確認と保護者様からの情報のもと対応しています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	事業所内の安全点検と設備について理解し支援しています	再度全てのスタッフに周知します
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	体験型訓練にて安全指導を受けています	保護者様に分かりやすく安全に関する取組内容をお伝えしていきます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	事業所内で共有して、報告、連絡、相談を徹底しながら再発防止に努めています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止マニュアルを作成して研修をしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	利用時の契約書に記載し説明を行っています 様々な状況を想定して話し合っています	身体拘束適正化について事業所内で定期的に話し合っています	